

Vol. 36

美作大学が町の地域づくり協議会などを視察研修

地域づくりを学び、福祉に活かす

8月1日、美作大学（岡山県津山市）で社会福祉を学ぶ学生 20 人が佐用町の地域づくりについて学びました。12年続く美作大学集中講義の一環で、毎夏、佐用町でエクスカージョン（実地研修）を行っています。

研修では、自治会や地域づくり協議会の事業について学ぶだけでなく、民間の地域おこしの取り組みなども見学し、「少しでも良い地域にしたい」「地域を盛り上げたい」という熱い思いに触れました。



学生たちの研修先 

 長谷地域づくり協議会



生活支援事業「長谷助け合い隊」とIU ターン促進のための空き家活用事業「ゴトンボ荘」について学びました。

 株式会社 かのね



有志によるまちづくり会社が運営する、古民家を再利用した宿泊施設を見学し、地域おこしやにぎわいづくりへの熱い思いを聞きました。

 大木谷集落と関係人口推進への取り組み



過疎集落で活動する地域おこし協力隊員から、若者の地域活動への参画や関係人口推進への取り組みについて説明を受け、現地を視察しました。

 コバコ Work&Camp



過疎地での新たな働き方や異業種交流の拠点として運営されているコワーキングスペースを見学しました。

学生たちは、日頃から福祉を基盤として地域に関わっているが、自治会や地域づくり協議会などによって地域での支え合いや見守り、そして交流や仲間づくりなどが推進されていることを理解して欲しい。

町地域づくりアドバイザー  
島根大学  
作野 広和 教授



地域の皆さんが歴史や文化、そして自分たちの地域を大切にしながら、課題に向き合い、様々な活動をしていることがとても印象に残った。福祉現場に出た時には、利用者さんが暮らす地域へも思いを巡らせていきたい。

美作大学 社会福祉学科  
みよし ひいろ  
二次 陽彩さん

